1 調査対象工事の名称 特科車両隊ほか通信機器移設等工事

2 入 札 日 令和 5年 4月21日

3 調 査 対 象 業 者 名 日本テクニカルサービス㈱南関東支社

Γ	,
調査事項	調査結果
1. その価格により入札した理由	過去の同種工事の経験を参考に、仕様書に基づき 材料費・労務費・諸経費等を積算した価格であり、 施工可能な価格であると判断したとのこと。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	なし
3. 契約対象工事に関連する手持工事の 状況	なし
4.契約対象工事箇所と入札者の事業所、 倉庫等との関連(地理的条件)	事業所、倉庫ともに横浜市港北区(工事場所へは 車で片道2時間以内の距離)
5. 手持資材の状況	なし
6. 資材購入先及び購入先と入札者との 関係	従前から取引関係にある商社より調達予定
7. 手持機械数の状況	本工事で必要な工具類及び測定器はすべて保有し ている
8. 労務者の具体的供給見通し	自社社員及び協力会社より供給
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	①工事名:警視庁本部庁舎ほか通信設備更新等工事 発注者:東京都警察情報通信部 ②工事名:通信機器更新等工事 発注者:関東管区警察局 ③工事名:通信機器配線等工事 発注者:関東管区警察局 ④工事名:警視庁本部庁舎通信機器移設等工事

10. 経営内容	良好(直近3期連続黒字決算であり、加えて流動 性資産が流動性負債を大幅に超過している。)
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	同社は令和3年度、4年度と同種工事を受注して おり工事内容及び施工場所を熟知していることから 特段の問題は認められない。
12. 9の公共工事の成績の状況	<ul><li>①合格(評定対象外) 履行遅延なし</li><li>②合格(評定対象外) 履行遅延なし</li><li>③合格(評定対象外) 履行遅延なし</li><li>④ 73.7 点</li></ul>
13. 経営状況	問題なし
14. 信用状態	問題なし
15. その他の必要な事項	特になし

入札内訳書を確認した限り、業者準備品等に漏れはなく、調査概要9の通り同種工事を令和3年度、4年度と受注していることから想定人工もその経験を反映させたものとなっている。

他方、一般管理費等を低額にするなどして利益を圧縮しての応札であることから高い受注意欲による今回の応札金額であると推認される。

以上に加え、経営状況などを勘案すると特段契約内容に適合した履行がなされないおそれはないものと判断する。

#### 6 落札の決定

上記のことから日本テクニカルサービス株式会社南関東支社を落札者として認定する。

1 調査対象工事の名称 警視庁本部ほか通信機器設置等工事

2 入 札 日 令和 5年 7月18日

3 調査対象業者名 ㈱日立システムズフィールドサービス

調査事項	調査結果
1. その価格により入札した理由	本工事で更改する各種機器の導入工事(H22年度 通信機器整備工事1)は、調査対象業者が施工実 施しており、調査対象業者が得意とする業務である ため高い受注意欲で臨んだ。 特記仕様書記載の工事内容を詳細に確認の上、不 確定要素をなくし材料費、労務費及び利益を大幅に 圧縮し価格を算定した。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	なし
3. 契約対象工事に関連する手持工事の 状況	なし
4.契約対象工事箇所と入札者の事業所、 倉庫等との関連(地理的条件)	工事箇所:警視庁本部及び警視庁多摩総合庁舎 事業所:東京都千代田区神田東松下町12-2 倉庫:東京都江東区越中島3-5-25
5. 手持資材の状況	常時使用する電材などは手持ち資材として保有しているが、本工事にあたっては新規購入する予定
6. 資材購入先及び購入先と入札者との 関係	従前からの取引先
7. 手持機械数の状況	本工事で必要な配線の確認を行うテスタなどは自社で保有している。
8. 労務者の具体的供給見通し	自社及び協力会社から供給する。協力会社は全て 当社の研修を受講した作業員で施工する。
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	①工事名:茨城県警察本部用通信施設整備等工事 発注者:茨城県情報通信部 ②工事名:静岡県警察本部用指令通信システム整 備工事

	発注者:静岡県情報通信部)
10. 経営内容	良好(直近3期連続黒字決算であり、加えて流動 性資産が流動性負債を大幅に超過している。)
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	上記の理由に工事場所の状況を熟知しており、相 当程度効率的な施工が可能であることから特段の問 題は認められない。
12. 9の公共工事の成績の状況	① 82 点 ② 85 点
13. 経営状況	問題なし
14. 信用状態	①建設業違反の有無 なし ②賃金不払いの状況 なし ③下請け代金の支払遅延状況等 なし
15. その他の必要な事項	特になし

入札内訳書を確認した限り、業者準備品等に漏れはなく、調査概要9の通り同種工事を令和3年度、4年度と受注していることから想定人工もその経験を反映させたものとなっている。

他方、一般管理費等を低額にするなどして利益を圧縮しての応札であることから高い受注意欲による今回の応札金額であると推認される。

以上に加え、経営状況などを勘案すると特段契約内容に適合した履行がなされないおそれはないものと判断する。

### 6 落札の決定

上記のことから㈱日立システムズフィールドサービスを落札者として認定する。

1 調査対象工事の名称 中野庁舎ほか通信機器整備等工事

2 入 札 日 令和5年7月18日

3 調査対象業者名 サン電通エンジニアリング株式会社

調査事項	調査結果
1. その価格により入札した理由	本件と同様な工事を施工しており、その実績に基づく効率的な工程管理及び適正な価格の資材を調達することにより工事価格の圧縮ができると判断した。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	警察大学校 実習用電子交換機整備等工事
3. 契約対象工事に関連する手持工事の 状況	なし
4.契約対象工事箇所と入札者の事業所、 倉庫等との関連(地理的条件)	事業所、倉庫とも施工場所より車で1時間 30 分 程度(事業所、倉庫とも横浜市戸塚区)
5. 手持資材の状況	なし
6. 資材購入先及び購入先と入札者との 関係	従前より取引関係にある商社より調達予定
7. 手持機械数の状況	電動工具、各種測定器
8. 労務者の具体的供給見通し	自社社員及び協力会社より供給
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	①工事名:令和3年度 緑警察署通信機器整備 その他工事 発注者:関東管区警察局神奈川県情報通信部 ②工事名:令和4年度 一番町庁舎ほか通信機器 移設等工事 発注者:東京都警察情報通信部

10. 経営内容	良好(直近3期連続黒字決算であり、加えて流動 性資産が流動性負債を大幅に超過している。)
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	同社は令和3年度、4年度と同種工事を受注して おり工事内容及び施工場所を熟知していることから 特段の問題は認められない。
12. 9の公共工事の成績の状況	①73点 ②77点
13. 経営状況	問題なし
14. 信用状態	問題なし
15. その他の必要な事項	特になし

入札内訳書を確認した限り、業者準備品等に漏れはなく、調査概要9の通り同種工事を令和3年度、4年度と受注していることから想定人工もその経験を反映させたものとなっている。

他方、一般管理費等を低額にするなどして利益を圧縮しての応札であることから高い受注意欲による今回の応札金額であると推認される。

以上に加え、経営状況などを勘案すると特段契約内容に適合した履行がなされないおそれはないものと判断する。

### 6 落札の決定

上記のことからサン電通エンジニアリング株式会社を落札者として認定する。

1 調査対象工事の名称 丸の内警察署ほか通信機器整備等工事

2 入 札 日 令和5年11月21日

3 調査対象業者名 日本テクニカル・サービス株式会社

17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 -	
調査事項	調査結果
1. その価格により入札した理由	過去の同種工事の経験を参考に、仕様書に基づき 材料費・労務費・諸経費等を積算した価格であり、 受注に意欲的な姿勢であったことから施行可能であ ると判断した。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	特科車両隊ほか通信機器移設等工事(完成図書の 作成のみ)
3. 契約対象工事に関連する手持工事の 状況	なし
4.契約対象工事箇所と入札者の事業所、 倉庫等との関連(地理的条件)	事業所、倉庫ともに横浜市港北区(工事場所へは 車で2時間以内の距離)
5. 手持資材の状況	なし
6. 資材購入先及び購入先と入札者との 関係	従前から取引関係にある商社より調達予定
7. 手持機械数の状況	本工事で必要な工具類及び測定器はすべて保有している
8. 労務者の具体的供給見通し	自社社員及び協力会社より供給
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	①工事名:令和4年度 警視庁本部庁舎ほか通信 設備更新等工事 発注者:東京都警察情報通信部 ②工事名:令和4年度 通信機器配線等工事 発注者:関東管区警察局情報通信部
	設備更新等工事 発注者:東京都警察情報通信部 ②工事名:令和4年度 通信機器配線等工事

	③工事名:令和3年度 警視庁本部庁舎通信機器 移設等工事 発注者:東京都警察情報通信部
10. 経営内容	良好(昨年度が赤字決算であるものの、流動性資 産が流動性負債を大幅に超過している。)
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	同社は令和3年度、4年度と同種工事を受注して おり工事内容及び施工場所を熟知していることから 特段の問題は認められない。
12. 9の公共工事の成績の状況	①検査合格 ②検査合格 ③ 7 3. 7点
13. 経営状況	問題なし
14. 信用状態	問題なし
15. その他の必要な事項	特になし

入札内訳書を確認した限り、業者準備品等に漏れはなく、調査概要9の通り同種工事を令和3年度、4年度と受注していることから想定人工もその経験を反映させたものとなっている。

他方、一般管理費等を低額にするなどして利益を圧縮しての応札であることから高い受注意欲による今回の応札金額であると推認される。

以上に加え、経営状況などを勘案すると特段契約内容に適合した履行がなされないおそれはないものと判断する。

#### 6 落札の決定

上記のことから日本テクニカル・サービス株式会社株式会社を落札者として認定する。